

安全データシート (SDS)

1 製品及び会社情報

製品の特定

製品の名称	内視鏡シミュレータ用潤滑剤
製品コード	R0CMT

会社情報

会社名	株式会社 R0
住所	鳥取県米子市加茂町 2-218
電話番号	0858-24-6143
担当部署	技術研究所
E-mail	mikoto@rzero.jp

2 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類	区分に該当しない
-------------	----------

GHS ラベル要素

絵表示	シンボルなし
注意喚起語	注意喚起語なし
危険有害性情報	対象外
安全対策	取り扱い後はよく洗うこと。必要に応じて個人用保護具を使用すること。
応急措置	眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹼で洗うこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。
保管	換気の良い場所で保管すること。
廃棄	—

3 組成及び成分情報

化学物質

一般情報 危険有害性成分は無い。

化学名又は一般名	CAS 番号	ISHL	ENCS	含有率の%
脂肪酸トリグリセリド	73398-61-5	(2)-669	(2)-669	99-<100

4 応急処置

必要な応急処置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合 多量の水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合 気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。

5 火災時の措置

適切な（および不適切な）消火剤

適切な消火剤 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂

使ってはならない消火剤 データなし

化学物質に起因する
特定の危険有害性 データなし

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。

消防士のための
特別な保護具 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡)を着用する。多量の場合、人を安全に退避させる。必要に応じた換気を確保する。

封じ込めと洗浄の方法
および材料 少量の場合、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。多量の場合、

盛り土で囲って流出を防止し安全な場所に導いてから処理する。

環境に対する注意事項
二次災害の防止策

漏出物を直後に河川や下水に流してはいけない。
付近の着火源となるものを速やかに除き消火剤を準備する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
(局所排気、全体換気等)

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
適切な排気換気装置を使用する。

安全取扱注意事項

火気注意。加熱により品質劣化するので注意する。適切な排気換気装置を使用する。取扱い後はよく洗うこと。適切な保護具を着用すること。

接触回避
衛生対策

データなし
データなし

保管

安全な保管条件

容器に密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。火気注意。

安全な容器包装材料
貯蔵温度

データなし
データなし

8 ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

暴露限界値

知見なし

個人用保護措置

眼/額面の保護具
手の保護具
皮膚及び身体の保護具
呼吸用保護具

保護眼鏡
素材：ゴム保護手袋
長袖作業着
状況に応じ着用

9 物理的及び化学的性質

外観

物理状態
形状
色

液体
液体
微黄色透明

臭い	エステル臭
臭いの閾値	データなし
pH	データなし
凝固点	-4.0° F/-20.0°C
沸点	データなし
引火点	462.2° F/239.0°C (クリーブランド開放式測定器)
蒸発速度	データなし
可燃性	データなし
爆発限界一上限	データなし
爆発限界一下限	データなし
蒸気圧	データなし
相対ガス密度	データなし
密度	0.952g/ml(68.0° F/20.0°C) 0.936g/ml(104.0° F/40.0°C) 0.921g/ml(140.0° F/60.0°C)
比重	データなし
溶解度 (水)	水に不溶
溶解度 (その他)	エタノール、n-ヘキサンに可溶、キシレンに溶解
n-オクタノール/ 水分分配係数	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
動粘性率	データなし
粘性率	26.0 mPa.s(68.0 ° F/20.0°C) 14.0 mPa.s(104.0° F/40.0 °C) 8.2 mPa.s(140.0 ° F/60.0 °C)
粒子特性	データなし

10 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	データなし
危険有害反応可能性	反応性は低い。自己反応性はない。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11 有害性情報

急性毒性（可能性のある全ての暴露経路をリストアップする）

経口

製品 LD50(ラット):>2,000 mg/kg 区分に該当しない利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

経皮

製品 データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

吸入した場合

製品 粉じん、ミストおよびヒューム：データ不足のため分類できない
蒸気：データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

皮膚腐食性/刺激性

製品 OECD TG404(ウサギ,4h)：刺激性なし未希釈利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品 OECD TG405(ウサギ)：刺激性なし未希釈
利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品 皮膚：データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。
呼吸器：データ不足のため分類できない。

発がん性

製品 データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

IARC

発癌性成分は確認されていません。

ACGIH

発癌性成分は確認されていません。

NTP

発癌性成分は確認されていません。

日本産業衛生学会

発癌性成分は確認されていません。

EU

発癌性成分は確認されていません。

生殖細胞変異原性

in vitro

製品

Ames 試験 (TA98, TA100)：陰性
データ不足のため分類できない。

In vivo

製品

データ不足のため分類できない。

生殖毒性

製品

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

製品

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

製品

データ不足のため分類できない。

誤えん有害性

製品

データ不足のため分類できない。

その他の影響

データなし

12 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)

魚類

製品

LC50(=ジマス,96h)：>100 mg/l
利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

水生無脊椎動物

製品

利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

水生植物毒性

製品

データなし

水生環境有害性 長期(慢性)

魚類

製品

データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

水生無脊椎動物 製品	データなし 成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。
水生植物毒性 製品	データなし
残留性・分解性 生分解性 製品	データなし
BOD/COD 比 製品	データなし
生態蓄積性 生物濃縮係数(BCF) 製品	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log Kow) 製品	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	規制されないデータなし 成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。
その他の情報	データなし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物	“取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。適切な焼却炉で焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。本製品は廃棄物処理法に基づいて産業廃棄物と分類される。本法および地域の条例に基づいて廃棄すること。
汚染容器及び包装	データなし

14 輸送上の注意

国際規則

IMDG	該当せず
IATA	該当せず

国内規制

国内規制	国内法に従う
------	--------

15 適用法令

化学物質排出把握管理促進法	規制されない
労働安全衛生法	規制されない
毒物及び劇物取締法	規制されない
火薬類取締法	規制されない
高圧ガス保安法	規制されない
火薬類取締法	規制されない
消防法	第4類：引火性液体、動植物油類、非水溶性液体 指定数量（10000 リットル）
化学物質の審査及び製造等 の規制に関する法律	規制されない
船舶安全法・規制則	規制されない
航空法・施行規則	規制されない
輸出貿易管理令	規制されない

16 その他の情報

免責条項

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。

引用文献

- ・ GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (J IS Z 7253:2019)
- ・ 国際化学物質安全性カード (ICSC) コンパイラズガイド 日本語版 国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、1994 年
- ・ GHS 対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針、(社)日本化学工業協会、2019

- G H S に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル，作業場内の表示及び安全データシート(SDS) (J I S Z 7253:2019)
- 国際化学物質安全性カード(I csc)コンパイラーズガイド 日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、1994年
- G H S 対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針、(社)日本化学工業協会、2019